

	日時	平成 27 年 12 月 12 日 (土)	午後 2 時～4 時 30 分
	場所	(公財) 名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター11 階 ホール (名古屋市中区金山町一丁目一番一号 金山南ビル内)	
	出席者	参加者 17 名 (フォローアップ委員含む)、発表者 5 名、公社 4 名 (合計 26 名)	

司会の鈴木委員長より開会の挨拶

- 1 会長挨拶 14:00～14:05 なごや歴まちびとの会 会長 野村 昭男
第 1、2 回目講座を振り返りながら、3 回目となる今回も歴まちびとの有意義な発表会を期待する旨の挨拶あり。会としても、更に地元の行事や各地域に密着した幅広い活動を目指したい。

- 2 派遣制度について 14:05～14:35 (公財) なごやまちづくり公社 主査 安田 博幸
派遣対象建造物および派遣業務の流れ (募集、選定、派遣、報告等) の概略説明と今年度の派遣実績、(5+1) 件の紹介あり。尚、公社としては派遣の範囲はアドバイスまでで、改修工事は基本的に範囲外としている。

- 3 派遣体験発表 14:40～14:55
14:40～14:55 加藤昌之氏・・・(30) 中区橘一丁目 山田屋総本店
*相談内容は保存活用のための耐震性能等の調査と補修方法・派遣は 27 年 8 月 31 日である。
明治 43 年築の木造瓦葺き 2 階建の名古屋市都市景観重要建築物であるが、昭和 12 年に曳家されており、その時に一部除却が見られる。今回、改めて平・立面図を作成している。橘町にある当該仏壇店はこれからイベント等の地域の行事に建物が使えるかどうか、老朽化や耐震性の調査依頼である。土台・基礎が不明で、1 階店舗に耐力壁は少なく (鉄骨補強有り)、2 階住宅との壁の整合性も疑わしい。よって、バランスも悪く、現況では耐震性は低いと判断せざるを得ないが、耐震補強や修繕により、使用可能であることもわかった。この地域では橘町の街づくりの核になる建物である事から、店舗内仏壇の商品を保管したまま、空いた空間を借用する要望が出されている。所有者は高齢等の理由からも権利関係が複雑で今後の大きな課題となっている。

- 15:00～15:15 尾崎武寛氏・・・(25) 中村区寿町 長寿庵
*相談内容は既存図の照査と現況の記録・派遣は 26 年 9 月 10 日である。
名古屋市都市景観重要建築物の解体前の最後の調査である。大正 12 年築 (平成 4 年修復工事) の木造瓦葺 2 階建入母屋造の元遊郭建築となっている。建築当初からは取り壊し部分があり、1993 年には名工大の若山滋先生の建物調査が入っている。連子格子や高欄・鬼瓦などからも、遊郭建築を思わせる建物の性質上、遊び心が至るところに見られる、大正モダニズムが溢れた建物であり、当時の様子が伺える。その建築の最後に立ち会えた一人になったことが最大の成果と言うべきか、こんな場合に少しでも何か残すことができる方法はあるのか、今は既存図の照査と建物写真の記録と記憶のみが残ったのである。

- 15:35～15:50 佐藤博司氏・・・(26) 西区枇杷島 種村家住宅
*相談内容は改修箇所の相談・派遣は 26 年 10 月 6 日～27 年 1 月 20 までの計 4 回である。
昭和 8 年築の木造 2 階建入母屋造の住宅で当初は医院を併設していた。大屋根破風や雨漏りなどの修理をしたいが優先順位を決めてから直したいので概算費用が知りたいとのことであった。現地を確認し、屋根・左官専門業者の調査が必要と提言し、その調査の結果、瓦については鬼瓦のはずれなどのいくつかの問題がみつき、漏水箇所は屋根下地にも及んでいる可能性も指摘された。屋根破風の漆喰の剥落箇所はこれ以外にも落下の危険があることも分かった。見積りは屋根葺替工事と緊急修繕工事を提示したが、順次、屋根緊急修繕に着手した。今回の派遣では所有者が、アドバイスに基づいて実際に修繕をされ、他にも修繕の必要箇所を伝えることができ、又、業務内容も改修工事の見積もりまでカバーすることができた。尚、板塀改修についてはアドバイスに沿って検討中である。

15:55～16:10 野口和樹氏、笠嶋淑恵氏・・・(27)中区千代田五 本草閣薬局

*相談内容は図面の作成・派遣は27年4月30日と5月5日の2回である。

敷地建物は増築が繰り返されているが該当する木造軸組工法2階建は1期が昭和26年新築、2期が昭和27年の増築と想定される。派遣業務の平面図作成は全て実測調査によったが、柱寸法や基準寸法となるピッチに、其々に規則性がなく、まちまちで、ずれの原因となっていると考えられる。又、1、2階で躯体の整合性に問題があり、ひずみの要因ともなっている。その不整合の補足資料として、今回多くの写真を撮って資料として残している。漢方薬一筋の店舗として営業してきた所有者は、この地域のさらなる発展と活性化に寄与したいとの大きな思いがあり、いずれは「漢方資料館」としての提案希望を持っている。これらの関連資料もある、そして、存在意識も高い価値のある建物として、今回の現地調査を認定に向けての第一歩としたい。尚、この三角地帯にはランドマークとしての意義のある建物であり、街角広場としての提案もしていきたいと考えている。

4 意見交換 16:15～16:30

派遣業務についてはそれで終わりとはならない場合が多い。そこからコンサルタント業務、或いは設計業務に発展させたほうが良いのか、派遣された後の要望を活用などの提案を含めた意見としてまとめる事も必要と考える。

5 閉会 16:30

名古屋まちづくり公社の宮崎様より、4件の発表にそれぞれ違いがあり大変参考になり、歴まちの活動を市民の皆さんにも知ってほしいとの挨拶がありました。その後、長時間に渡って司会をされた鈴木委員長の挨拶により、無事に閉会となりました。委員長、皆様、ありがとうございました。



(文責：猪飼)